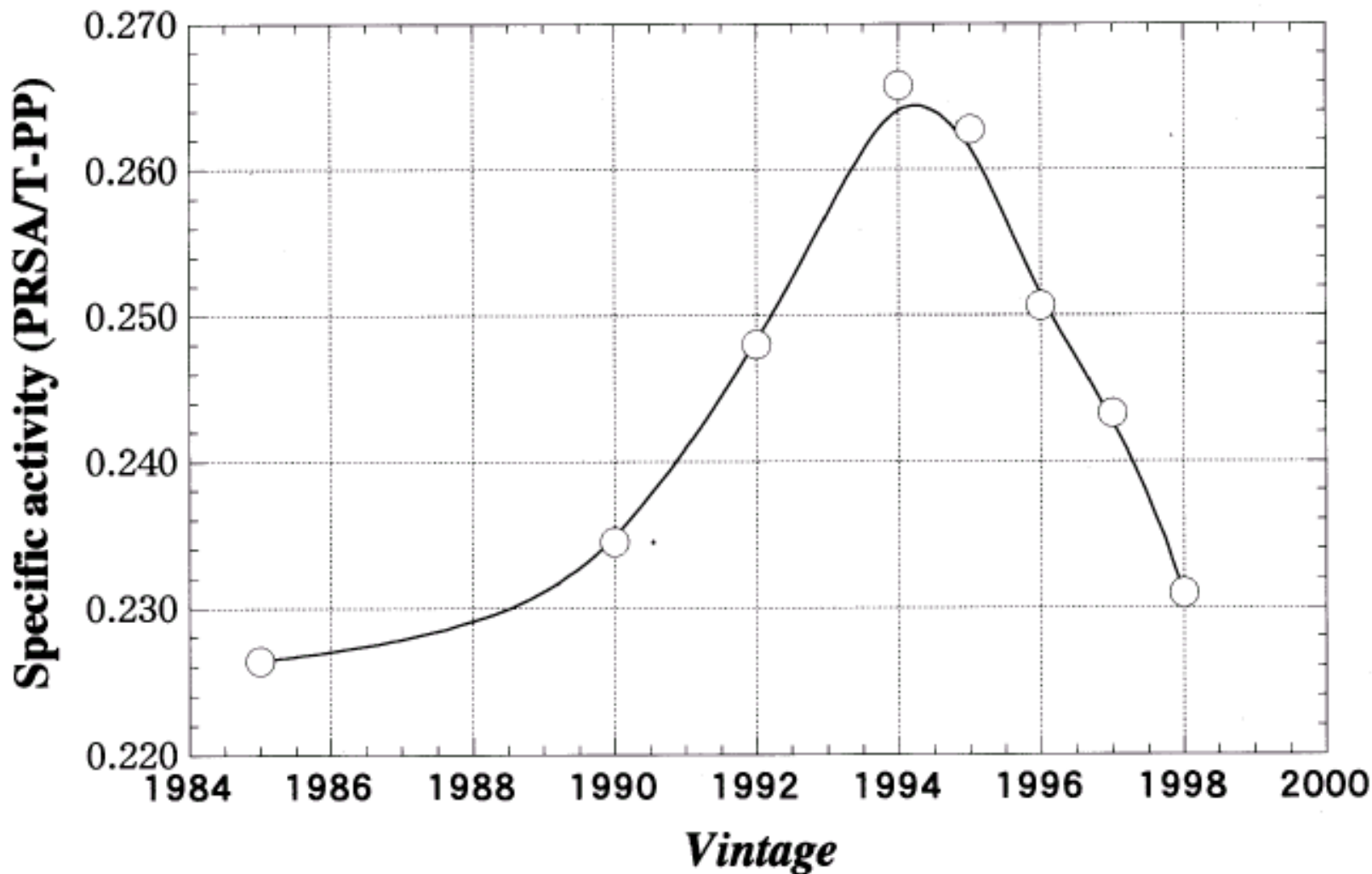


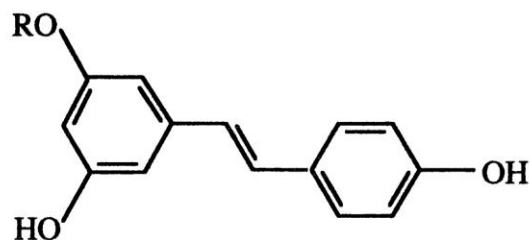
ワイン・ビンテージとポリフェノールのラジカル消去比活性の関係



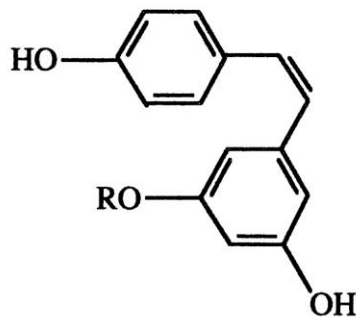
Resveratrolについて

Creasy らがブドウ果皮からリスベラトロールを発見 (1988)、1992年にワイン中から検出。

1993年にはFrankelらがヒトLDLの抗酸化能を報告。



R=H, *trans*-Resveratrol;
R=Glc, *trans*-Piceid (3- β -glucosyl-*trans*-resvetatrol)



R=H, *cis*-Resveratrol;
R=Glc, *cis*-Piceid

配糖体のパイシードは虎杖根（イタドリ）の主成分。
虎杖根は生理不順、浄血、神経痛等の治療薬。
イタドリの根は水虫薬として民間療法で使用。

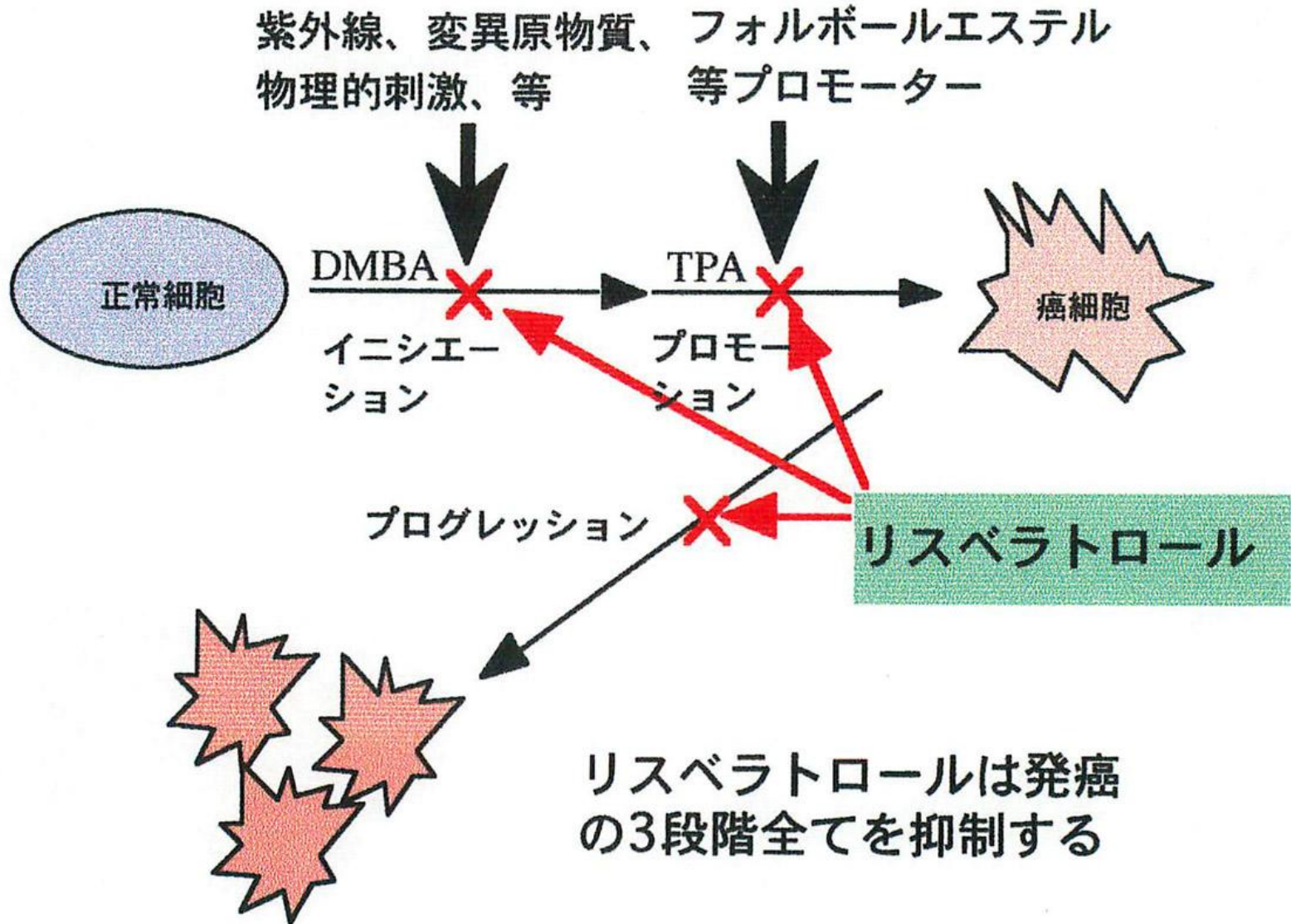
リスベラトロールの抗がん効果

M. Jang, L. Cai, J.M. Pezzutoら: *Science*, 275, 218~220 (1997)

要約

赤ワインやブドウに含まれるリスベラトロールが発癌プロセスの主要3段階全てにおいて、抗癌作用を示すことが明らかとなった。リスベラトロールは抗酸化物および抗変異原物質として作用し、第II相薬剤代謝酵素を誘導（抗イニシエーション）することが判明した。また、本物質は抗炎症作用を示し、シクロオキシゲナーゼおよびヒドロペルオキシダーゼ活性を阻害（抗プロモーション）し、骨髄性白血病細胞の分化を誘導（抗プログレッション）した。さらに、癌原物質処理マウス乳腺培養細胞における新生物の病変進行を阻害し、マウスの皮膚癌モデルにおいては、0.2~5.7 mgの塗布で、皮膚癌を68~98%減少させた。

発癌過程とリスベラトロールの作用



ブドウ (ピノ・ノワール、メルロー) の リスベラトロール含量

Resveratrol vs Total polyphenol

